

広報 いいせん No.338

全世帯配布 編集・発行 伊仙町役場 未来創生課（情報発信ワーキンググループ）
〒891-8293 鹿児島県大島郡伊仙町伊仙1842
TEL 0997(86)3111（内線27） FAX 0997(86)2301
URL <http://www.town.isen.kagoshima.jp/>

2019年(平成31年)1月号

目次

- ◎年頭のあいさつ…………… 2～3P
- ◎成人式…………… 4P
- ◎第1回日本メディカルヴィレッジ学会…………… 5P
- ◎伊仙町公共施設の整備再編に関するアンケート結果 …… 6～7P
- ◎各種イベント・行事のようす…………… 8～15P
- ◎お知らせコーナー…………… 16～23P
- ◎わが町のアイドル・戸籍の窓…………… 24P



HP専用QRコード
Facebook・youtube（動画）
でも、町の情報をお伝えして
ます。
（メルマガも始めました!）

撮影：加川 京（地域おこし協力隊）



今年も楽しもう。



町民の皆様、新年あけましておめでとうございます。昨年9月の台風24号により、被災された皆様へ改めてお見舞いを申し上げますとともに、台風被害にふるさと納税や義援金などの御支援をいただいた皆様に、厚く御礼を申し上げます。

本町では、生涯活躍の町づくり「すべての町民が主役のまちづくり」を掲げ、地方創生を推進してまいりました。日本一の高い合計特殊出生率と並んで、長寿者が多い町として、全国各地の地方自治体や地方議会から、本町の施策や

地域力を生かした子育て支援環境などに関する行政視察が急増し、改めてこの町の魅力を再認識したところであります。

平成最後を迎える本年は、地方創生を柱とした施策をさらに推進し、「健康長寿、子宝日本一」という強みを生かし、全町民の力で更に、大きく飛躍する年にしていきたいと思っております。世界自然遺産については、国際自然保護連合による登録延期の勧告を受けましたが、課題が明確になったことで、今年2月の世界自然遺産登録の再推薦に向けて、関係機関との連携を強化し、確実な世界自然遺産登録実現に向け、取り組んでまいります。

現在、取り組んでいる特筆すべき施策としては、「集中から分散へ」を旗頭に、各集落の活力を上げることを目指しています。その一環として、小規模校区への住宅建設を推進しており、子育て世帯の定住による集落の活性化や学校児童数の維持・

増加につながっていることから、引き続き計画に基づいた公営住宅整備を進めてまいります。
次に主な施策について、概要を述べてまいります。

- ① 災害に強い町づくりとして、町内で順次整備している防災行政無線機器の更新を継続し、全集落での防災訓練の実施、指定避難所へ公衆無線LANを整備します。
- ② 農高跡地の利活用及び庁舎を含めた公共施設の再編に取り組んでまいります。
- ③ 企業誘致として、サテライトオフィスを推進し、交流人口の増加や雇用創出を目指します。
- ④ 地域包括ケアシステムを更に深化させるため、各集落が取り組む「地域さわやかサロン」の拠点となる公民館機能の維持・強化に向けた、拠点施設整備を実施し、高齢者のIターン・Uターンを受け入れ、中核を担う徳之島交流ひろば「ほーらい館」と連携した町民の健康長寿を推進します。
- ⑤ 畑地帯総合整備事業による徳之島の水利利用で、さとうきびやバレイショなどの反収増加、畜産分野におけるスマート農業の推進、徳之島コーヒーの育成、伊仙町農業支援センターを核とした農業人材の育成支援などによる所得向上、雇用創出を

目指します。

⑥ 東部地区に認可保育所設置、中学生までの医療費の無償化、長寿・子宝社（仮称）を設立し、福祉分野の事業の担い手不足解消と雇用創出を図ります。

⑦ いせん寺子屋での地元学、キャリア教育、遠隔ライブによる双方向的学習の支援、スポーツ活動の推進やICT教育を推進します。

⑧ 世界自然遺産登録に向け、ノイヌ・ノネコ対策、環境教育、エコツアーガイドの育成、観光地施設の整備改修、老朽化した道路を順次整備してまいります。

以上の施策を着実に実行することで、年齢、性別、障がいのあるなしに関わらず、町民を主役とした「生涯活躍のまちづくり」実現を目指します。

結びになりますが、今年も皆様にとりまして、希望に満ちた輝かしい年でありますとともに、穏やかで健康やかな一年になりますよう心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶いたします。

平成31年1月

伊仙町長

大久保 明

新年のごあいさつ



新年あけましておめでとうござい
ます。

皆様方におかれましては、希望に
満ち溢れた輝かしい新春をお迎える
こととお慶び申し上げます。旧年中
は、学校教育や生涯学習に対し、温
かいご理解とご協力をいただき、心
より感謝申し上げます。

現在、我が国を取り巻く社会は、
情報化やグローバル化といった大き
な変化が、予測を超えて加速度的に
進展しています。

こうした社会を生き抜くために
は、子供たち一人ひとりが、予測が
困難な変化に主体的に向き合い、自
らの可能性を發揮し、よりよい社会
と幸せな人生の創り手となる力を身
に付けられるようにすることが重要
です。

教育は、これまで受け継がれてき
た伝統・文化・歴史を次の世代に伝
えること、そして子供たちがそれを
もとにして、自分たちの力で困難に
立ち向かい、様々な課題を解決し、
新しい時代を創る力を身に付けるよ
うに育てることだと考えています。

さて、昨年を振り返ってみます
と、平成三十年から二年間は新学
習指導要領の移行期間として、小学
校三・四年生は外国語活動、小学
五・六年生は、外国語科が始まりま
した。そのことを受け、本年度、本
町の小学校に専門的な要素を備えた
英語専科を加配し、外国語教育の充
実に努めてきました。

また、「伊仙町の未来のために、
我が子のために、共に」の理念の
下、行政・学校・家庭の役割を明確
にした学力向上プログラムを立ち上
げ、学校教育のIT化の推進を通し
た教育環境の整備・指導力向上に向
けた研修を通じた授業力向上に取り
組み、昨年度に増して教育活動の充
実を図ることができました。

教育委員会としても、これまで以
上に教育の本質を大切にしつつ、子
供たちに何を培うことが大切か、子
供たちのために何ができるかを考
え、実行に移していかなければなり
ません。そのためには、現在の教育
課題や現状を一つ一つ点検・把握

し、判断していくことが必要である
と考えています。

その他、児童生徒に「確かな学
力」を育むためには、学習の基礎・
基本の徹底や学ぶ意欲の育成が重要
です。特に小学校段階から習熟の遅
れがちな子供たちが、その学年で学
習する内容を理解しないまま進級
し、次の学年での学習に支障をきた
すという事があります。

そのために、今年度も「家庭学習
60・90+20」運動を継続して
基礎学力向上の施策を通して家庭学
習の習慣化に努めていきます。

最後になりますが、新年度に向け
ては行事を見直し、改善を加えなが
ら学校・家庭・地域社会がその役割
を十分果たしながら一層の連携と協
力のもと、教育行政の充実発展に教
育委員会が一丸となって町民の期待
に応えられるように努力していきま
す。本年が皆様方にとりまして幸せ
に満ちた、充実した年になりますよ
うにご祈念申し上げます、新年の挨拶と
いたします。

平成31年1月

伊仙町教育委員会教育長

直 章 一 郎

謹 賀 新 年

町 長 大久保 明

副町長 稲 隆仁

教育長 直 章一郎

総務課長 池田 俊博

未来創生課長 久保 等

税務課長 名古 健二

町民生活課長 福司 銀二郎

保健福祉課長 澤 佐和子

経済課長 仲島 正敏

建設課長 松田 博樹

耕地課長 上木 正人

きゅらまち
観光課 佐藤 光利

水道課長 福島 隆也

ほーらい館長 重村 浩次

会計課長 春島 弘明

議会事務局長兼
監査室書記長 穂 浩一

選挙管理委員会
書記長 喜 昭也

農業委員会
事務局長 元田 健視

教育委員会
総務課長 水本 齊

社会教育課長 稲田 良和

学校給食
センター所長 伊藤 勝徳

保健センター
所長 久保 修次

中央公民館
館長 嶺山 スミ子

他 職員一同

伊仙町成人式



懐かしい友との再会 溢れる笑顔
華やかに 新しい門出を迎えた 若者たち

目標へ向かって決意を新たにそれぞれの道を進む

新年を迎えた1月2日、徳之島交流ひろば「ほーらい館」において、平成31年成人式が開催されました。

袴やスーツ、振袖に身を包んだ新成人の皆さんは、旧友との再会に笑顔を見せていました。

式典では、新成人を代表して、幸夢丸さんと美島優梨さんが青春のメッセージを読み上げました。幸さんは、「自分磨きの時間を過ごしています。都会に出て一番感じたことは、親への感謝です。一



謝辞
中村 亮介さん



青春のメッセージ
美島 優梨さん



青春のメッセージ
幸 夢丸さん

人暮らしは、どれだけ親に世話になっていたかを気付かされました。島には、困っていたら助ける思いやりの心があります。この地で育ったことを誇りに思います。先日、命と人生について考える機会がありました。いつまでも親や大切な人たちがいることが当たり前でないことを痛感しました。自分の人生を大事に人とのつながりを大事にしていきたいと思います」と述べました。

また、美島さんは、「20歳を迎え学業に励んだり、仕事に従事している人。社会の一員として、向上心を持ち頑張っています。島を出て、温かいご飯がある事など、当たり前前に思っていたことが当たり前でなく、感謝すべきだということを感じ、感謝の気持ちでいっぱいになりました」と述べました。

最後に、新成人を代表して、中村亮介さんが両親や関係者に対して、謝意を伝えるとともに、社会人としての決意を述べました。余興の部では、新成人の二人が司会を務め、新成人による余興が行われました。

小学校、中学校時代の写真などがスライドで紹介されると、当時を思い出しながら、成長した子どもたちの晴れ姿に家族や関係者が、涙ぐむ場面もありました。

この日のために、中学校時代の恩師の先生も駆けつけ、当時撮影

した5年後の自分たちへのメッセージが映像で流されると、会場では笑いが出るなど、当時の懐かしい思い出が蘇ってきたようです。



心に残った「感謝」の言葉

社会の一員として、自覚を持つと同時に、ふるさとへの思いを新成人から感じました。そして、何よりも感じたことは、今まで温かく見守り育ててくれた家族への感謝の気持ちが伝わってきたことです。「当たり前前に思っていたことが、当たり前でなかった」というこの言葉に、親元を離れ、一人暮らしをするなかで、強く思ったことも彼らが成長している証だと感じました。

それぞれの目標に向かい努力する中で、時には挫折をすることがあるかもしれません。そんな時は、ふるさとを思い出し、支えてくれる人たちが、この町にいてくれることを忘れないでほしいと思います。

第1回日本メディカルヴィレッジ学会 生涯活躍のまち共催シンポジウム



参議院
尾辻 秀久 議員



鹿児島県
中村 かおり 副知事



あまぎユイの里
医療センター
寺倉 宏嗣 院長



南日本ヘルス
リサーチラボ
森田 洋之 代表



順天堂大学医学部
樋野 興夫 教授

11月10日、第1回日本メディカルヴィレッジ学会・生涯活躍のまち共催シンポジウムJESSEYが徳之島交流ひろば「ほーらい館」で開催されました。島内外から医療・介護関係者はじめ約270人が参加しました。終末期医療と離島医療の専門家3氏による基調講演・活動報告に続き、「生涯活躍のまちづくり」に向けた各分野の専門家によるパネルディスカッションが行なわれました。

元厚生労働大臣の尾辻秀久参議院議員と同省出身の中村かおり鹿児島県副知事も出席され、来賓あいさつで本町へ期待の言葉を頂きました。



パネラーや関係者との集合写真。シンポジウム終了後も様々な意見交換を行った。

後半のパネルディスカッションでは、松田智生（三菱総合研究所 主席研究員）山下保博（アトリエ・天工人代表取締役）山崎亮（株式会社 studio1 代表）

前半の基調講演ではまず、森田洋之（南日本ヘルスリサーチラボ代表）による「夕張でその時何が起こり、まちがどう変わったか」自分達でつくる暮らし」と題して講演がありました。続いて、日本メディカルヴィレッジ学会理事長の樋野興夫（順天堂大学医学部教授）による「がん患者と共に、その心のケアと哲学」メディカルヴィレッジは徳之島だった」と題して講演があり、最後に、寺倉宏嗣（あまぎユイの里医療センター院長）による「徳之島の現状と徳之島で幸せに終末期を迎えるには」と題して、徳之島の医療現場の状況について報告がありました。

全町民主役宣言

- 一、病気や障がいがある人も、地域（シマ）でともに支え合う社会を目指します。
- 一、移住者も含めた、すべての人が幸せになれるよう全町民が主役となる地域（シマ）づくりを目指します。
- 一、町の宝である長寿・子宝を守り、地方創生を推進していきます。

大久保明（伊仙町長）が登壇し、生涯活躍のまちをテーマに、各分野・プロジェクトの紹介と併せ、それぞれの視点から提言がありました。

パネルディスカッションの最後、松田氏から「主語は町民。全町民参加の地域づくりが、生涯活躍のまちづくり。今回のシンポジウムを一過性のものにならず、住民参加のアイデアで高め、首都圏でなく徳之島・伊仙町から離島モデルを全国へ広める。百の審議会より一つの行動を」と総括しました。

閉会式では、大久保町長が「全町民主役宣言」を行いました。

「伊仙町公共施設の整備再編に向けた検討はじまる」

伊仙町の公共施設は、住民の皆様が健康で文化的な生活を送れるよう、文化活動、社会活動、健康増進に資する施設としてサービスを提供してまいりました。それら施設も設置から 50年近くの年月を経て、どのようにして維持管理を行っていくか、議論が必要な段階となっています。

日本全体が人口減少の一途をたどる現在、伊仙町としては「集中から分散へ」「集落の活力が地域の活力」と明確なメッセージを掲げ、各集落公共施設へのさらなる機能の付加と集落の活性化を図っていく予定です。

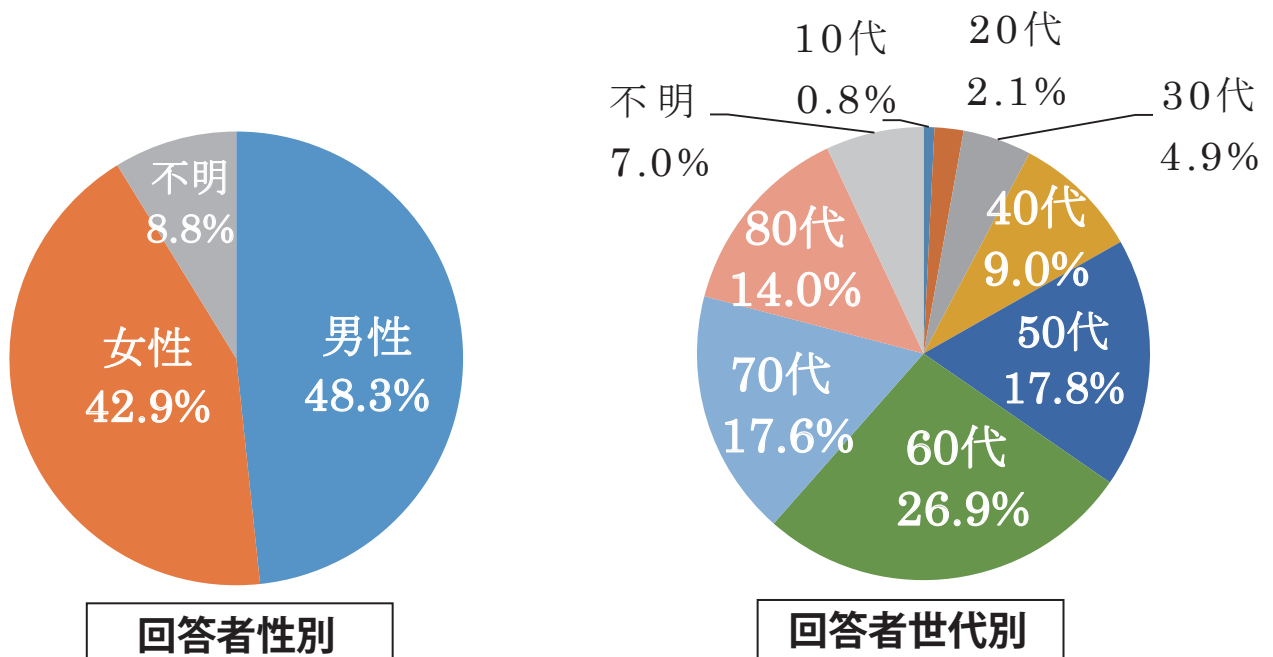
また、平成28年4月に発生した熊本地震では、自治体庁舎などの被災により、住民の支援、復旧、復興対策の拠点としての機能維持が難しくなり、庁舎の防災機能の強化を図ることも重要な課題と言えます。

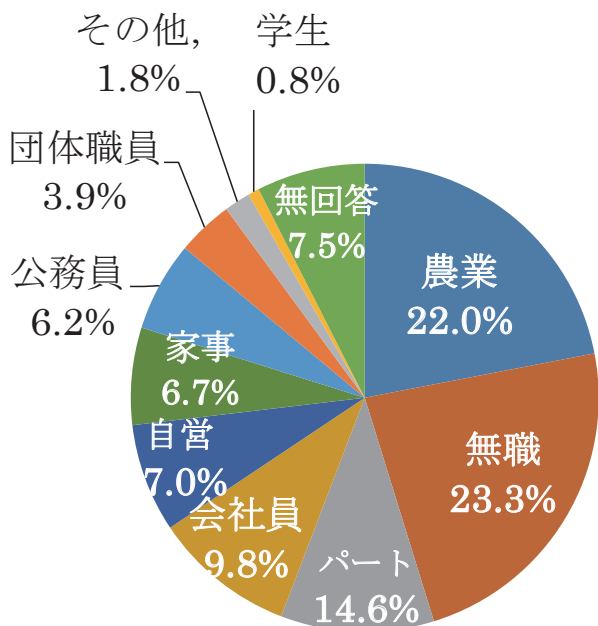
町内公共施設の拠点でもある伊仙町役場庁舎は、昭和38年9月に竣工し、55年の月日を経て2018年の耐震診断においては「新耐震基準（S56）以前の建築物であり、なお耐震診断の結果により、耐震性能を満たしていない」という結果が出ました。既に防災体制の不備や業務の効率、来庁者の利用面で支障をきたしており、新庁舎移行への議論が必要な段階となっています。

このような状況から、伊仙町では「伊仙町公共施設等総合整備検討部会」を立ち上げ、協議を始めております。改修、建設に伴う財源確保の大きな課題もありますので、事業内容や改修・建設年度の具体的な協議を行い、基本構想の策定、優先順位の明確化、住民の要望調査、住民との対話を軸に、今後5か年を目途に計画を実現化していく予定です。

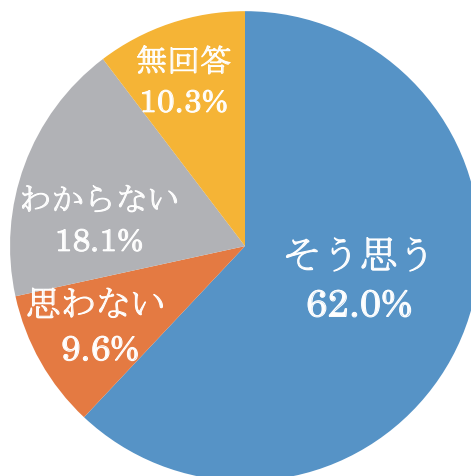
上記の背景に鑑み、伊仙町では 2018年12月、全戸向けに「伊仙町の公共施設整備に関するアンケート」をお願いしました。2019年1月4日現在 499部の返信があり、回収率は 14.9%となっております。この皆様からのご意見を元に、伊仙町における公共施設整備の在り方に関しての議論を重ねてまいります。

＜アンケート途中結果（一部抜粋）＞ （2019年1月4日現在）

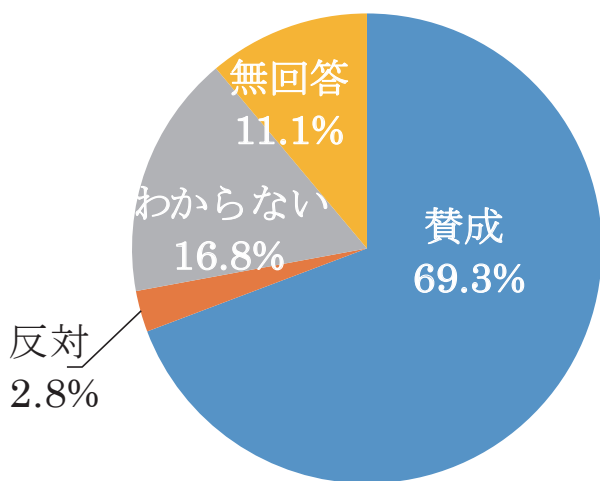




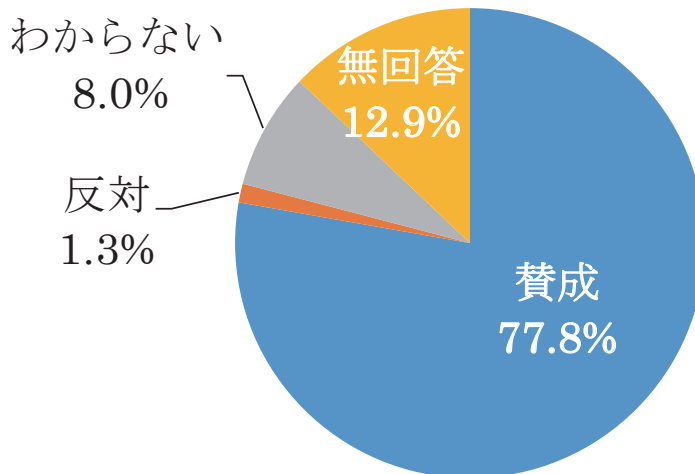
回答者職業



庁舎建て替えの必要性



町中心部の再編について



管理運営費の縮減やサービス改善の必要性

これらアンケート結果やその他の伊仙町公共施設に関する現状のオープン説明会を、下記の日程で実施します。ポスターや資料を展示し、役場やコンサルタントスタッフが質問にお答えしますので、開催時間中どの部分でも構いませんのでご来場ください。

日 時：平成 31 年 1 月 29 日（火） 14：00～19：00

場 所：徳之島交流ひろば「ほーらい館」ホール

内 容：伊仙町の公共施設整備再編及び学習支援センター構想に関するオープン説明会

きて、みて、まなぶ徳之島のカムイヤキ ～焼き物づくりから歴史を知り、語る～



平成30年度
埋蔵文化財活用事業

第1部 カムイヤキを知ろう！



焼き物づくり体験コーナー



ポスターブースによるフリートーク講座



展示ブース 復元作業中のカムイヤキの見学



修復作業 体験コーナー

また、体験ブースでは、焼き物づくりや修復作業を体験できるコーナーが設けられ、親子で参加して、土を練って、焼き物づくりを行ったり、バラバラになっている陶器の破片を組み合わせ、修復する作業などを体験していました。実際に、焼き物の器を作ると、土の感触を手先で感じる事ができたり、思うように形が整わないなど、参加者は、焼き物づくりの楽しさや難しさなどを体験することができました。

12月16日、徳之島交流ひろば「ほーらい館」において、徳之島のカムイヤキに関する公開シンポジウムが開催されました。

第1部では、カムイヤキを知ろうということ、展示ブースでは、カムイヤキが焼かれた時代の歴史や背景について、専門家が解説を行いました。復元作業中のカムイヤキの展示などもあり、来場者は、興味深く、実物を観察していました。

第2部 公開シンポジウム

また、発見当時の発掘調査を担当した、元鹿児島県立埋蔵文化財センターの新東氏は、発掘調査から報告書を完成させるまでの整理の段階で、苦労した当時を振り返り、収集した遺物が復元されていることについて、感慨深げに話をしました。

第2部では、公開シンポジウムが開催され、カムイヤキが発見された当時から、これまでの成果に関する報告がありました。

カムイヤキが発見されたのは、今から35年前で、発見者の四本氏は、「馬根から伊仙中学校に通っていた頃から、カムイヤキという地名を知っており、溜池の工事中で偶然にも発見された」と当時の喜びを振り返っていました。



第2部公開シンポジウム
「これまでのカムイヤキとこれからのカムイヤキ」



カムイヤキについて、見解を述べる登壇者。

調査研究により、カムイヤキは、全国的にも知られるようになってきましたが、まだ説明されていないことが、たくさんあるということ、地域の皆さんに関心を持ってもらいたいとの期待の声がありました。

修復を担当している伊仙町歴史民俗資料館の榎本学芸員は、「三年前から国の事業を使って、収集され眠っていた遺物を整理し始め、復元作業を進めてきました。器の全体の形がだんだん分りはじめています」と述べ、何万点近くの破片から、1個体の破片を見つけ出し、時間をかけて復元していく過程の難しさを語りました。

伊仙町産業祭・食の文化祭



黒毛和牛試食会



キビコンテスト



赤ちゃんハイハイレース



三輪車レース



玉入れ

屋外イベントのご紹介

11月23日、徳之島交流ひろば「ほーらい館」において、伊仙町産業祭・食の文化祭が開催されました。この日は、晴天に恵まれた行楽日和。三連休の初日とあって、多くの来場者で賑わいを見せました。

式典の部では、農業振興に貢献された方々の表彰式や意見発表、講演会などが行われました。

講演会では、奄美の郷土料理について、奄美食育食文化プロジェクトの久留ひろみさんによる講演が開催されました。年中行事など



講演会
NPO法人 奄美食育食文化プロジェクト 理事長 久留ひろみさん

に欠かすことのできない郷土料理などを紹介しながら、郷土料理の継承について、話がありました。味の記憶を次世代へというところで、子どもたちは、食文化を通して、自分の郷土に愛着と誇りと自信が持てるようになるそうです。

しかし、伊仙町におけるアンケート調査の結果によると、次世代への継承が難しくなっている課題も浮き彫りになっていくそうです。

「味の記憶の大切さ。懐かしさは美味しさを超える」と言う言葉を引用し、年齢を重ねるごとに、その大切さに気づく点を挙げていました。

また、奄美諸島から長寿世界一を三人も輩出した点について、奄美諸島のスローフード

との関連性を指摘し、「究極のスローフードは、郷土料理」ということで、基本的な郷土料理を伝え、世界自然遺産登録に向けて、町の宝として大切にしたいという言葉で、講演を締めくくりました。

屋外イベントでは、多くの来場者で賑わいを見せ、伊仙町産黒毛和牛の試食会では、上質で柔らかいサイコロステーキを味わおうと長蛇の列ができました。恒例となっている赤ちゃんハイハイレースでは、愛くるしい笑顔で、ゴールを目指しながらも、途中で泣き出す子もいました。馬鈴薯の植え付け作業など、繁忙期のなかで、束の間の休日を楽しむことができたのではないのでしょうか。

三連休初日を利用して、多くの来場者が訪れた



○糖業部門

- 西 吉広 (面積拡大の部)
- 松 清二 (品質の部)
- 前 弘一 (単収の部)
- 稲村 英治 (功労賞)

○商工会部門

- 重松 蔵人 (永年勤続賞)
- 富 裕彦 (永年勤続賞)
- 大郷 誠 (永年勤続賞)

○80・20 運動表彰

- 菊 善市 宮 久子
- 平 敏枝 常 ヨシ
- 佐藤 和子 丸野 みえ子
- 加野 ミツエ 富 リツ子
- 富岡 昭夫 林 忠正
- 納原 武 富岡 昭子
- 福本 みつ子

○畜産部門

- 清 裕次 (第67回鹿児島県畜産共進会第1部若雌1区 優秀賞)
- 源 元一 (第16回徳州肉用牛振興大会若雌第1部 3席)

○徳之島地域土砂流出防止対策連絡協議会表彰

- 稲村 義久 (徳之島地域優良土砂流出防止実施耕作者)
- 勝 定一 (徳之島地域優良土砂流出防止実施耕作者)

○教育活動部門

- 赤崎 祐斗 (第68回鹿児島県高校美術展優秀賞)
- 仲島 朱莉 (平成29年度いきいき教育活動表彰)

○徳之島の夢ある農業絵画

- 大石 燎義 (町長賞)
- 北澤 粹平 (教育長賞)
- 内 麻里菜 (農業協同組合賞)
- 原 友香 (南西糖業(株)賞)
- 川本 彩嘉 (南大島農業共済組合長賞)
- 太山 ほのか (奨励賞)
- 森 太陽 (奨励賞)
- 政田 みなみ (奨励賞)
- 津畑 愛音 (奨励賞)
- 實 愛莉 (奨励賞)
- 阿権小 学校 (学校賞)

○集落区長永年勤続

- 宮永 友吉
- 窪田 孝司
- 富岡 恒夫
- 川本 博光
- 福田 成一郎
- 稲 トキ子
- 藤 茂久

目指せ！世界自然遺産登録

わきやしまのいきむんきやシンポジウム



12月16日、徳之島町生涯学習センターで、世界自然遺産に関する一般公開シンポジウムが開催されました。

環境省徳之島自然保護官事務所の沢登氏は、今年の5月4日、IUCNから世界自然遺産登録の延期が勧告されており、確実な遺産登録に向けて、再度、推薦を行うという話がありました。

勧告の内容としては、大きな点として、遺産価値については、該当する可能性があるが、境界の修正が必要で、保護管理については、一定の評価を得ているが、一部外来種対策や観光管理について指摘があったということです。

遺産価値については、生物多様性（絶滅危惧種の生息地）の基準に絞って推薦することとし、保護体制を今後更に強化していくことが一番大切だということでした。

具体的に知識や理解を深め、希少動植物の密猟や交通事故の防止、ノネコ対策を行っていくことが大事で、世界遺産を自然保護だけでなく、観光や子どもたちへの教育により、地元愛を持ってもらうことで、将来、徳之島に戻ってきてもらえるように、世界自然遺産

をきっかけに地域でやってくることが大事ということでした。

徳之島三町では、広報啓発活動に加えて、子どもたちへの自然体験イベントの開催、外来種駆除作業、盗採防止パトロールを実施しています。また、嘱託職員として、自然保護専門員を雇用して、自然観察会や学校への出前授業を実施することで、未来の担い手となる子どもたちにも、徳之島の自然について関心を持ってもらえるような取り組みを実施しています。

次に、徳之島の動植物についても、研究者から事例紹介がありました。宮崎大学の城ヶ原氏は、トクノシマトゲネズミの分布調査から、ノネコ対策が開始される前後に着目し、一定の効果が得られていることを説明しました。

また、九州大学の荒谷氏は、昆虫を取り上げ、日本全体で約3万種とされる種数の約



九州大学 荒谷 氏

27%にあたる、約8100種が奄美・琉球地域に存在しており、特に固有種が多い点についても触れていました。

沖縄のヤンバルクイナの保護活動について、動物病院の長嶺氏は、ネコやマングースなどの対策に加えて、繁殖などにも取り組んだことで、危機的状况を脱したと見解を述べていました。

地道な取り組みを根気強く進めることで、一定の効果が表れてきている現在の状況が明らかになりました。



外来種対策などの取り組み

貴重な固有種の紹介

第40回伊仙町駅伝競走大会



11月11日(日)、伊仙町駅伝競走大会(8区間16・6km)が喜念浜公園駐車場入口から、糸木名小学校グラウンドまでのコースで行われました。この日は、日差しが照り付け、汗ばむ陽気となりました。午前10時に号砲が鳴り、レースが始まりました。序盤から、伊仙校区Aチームが先頭に躍り出ると、中盤以降は、面縄校区が追走する展開が続きましたが、終盤にかけて差を広げると、3分余りの差で、見事に三連覇を成し遂げました。選手たちがチームのために精一杯走る姿に沿道からは、たくさんの方の声援が送られていました。

チームのために。みんなで繋いだ^{たすき}襷リレー。



伊仙校区の全体集合写真。今年、伊仙校区から3チームが出場。伊仙校区Aチームが優勝し、大会三連覇を達成。

総合順位	区間賞				新記録	
第1位 伊仙校区A	第1区 久保 聖 (面縄校区)	第5区 平山 龍聖 (犬田布校区)	第1区 久保 聖	6分07秒		
第2位 面縄校区	第2区 藤崎 あかり (伊仙校区)	第6区 牧 かりん (犬田布校区)	第2区 藤崎 あかり	5分06秒		
第3位 喜念校区	第3区 有山 龍宝 (喜念校区)	第7区 國島 毅 (伊仙校区)	第3区 有山 龍宝	6分55秒		
	第4区 杉並 蘭 (伊仙校区)	第8区 相良 奈々 (面縄校区)	第7区 國島 毅	7分44秒		

日本復帰記念第59回大島地区駅伝競走大会

12月2日(日)、日本復帰記念第59回大島地区駅伝競走大会(女子5区間15・4km・男子5区間29・6km)が和泊町で行われ、女子10チーム、男子13チームが出場しました。

大会当日は、暑い一日でしたが選手一丸となり、伊仙町の代表として、堂々とした走りを見せてくれました。選手はもちろん、応援している方々の声援により、女子の部4位・男子の部3位になることができました。

また、女子の部3区(3・4km)中夢子選手、男子の部3区(5・8km)では國島毅選手が、区間賞を獲得しました。選手・保護者のみなさん、関係者のご理解ご協力ありがとうございました。



大会を終え、充実した表情を浮かべる伊仙町チーム。

大会出場選手

牧 小紗	富本 瞬希
興 聖子	有山 龍宝
中 夢子	國島 毅
杉並 蘭	永里 剛城
藤崎 あかり	稲田 和志
杉並 桜	富 蓮虎

【女子の部】			【男子の部】		
第1位	奄美市	58分45秒	第1位	奄美市	1時間40分31秒
第2位	瀬戸内町A	59分28秒	第2位	喜界町A	1時間44分01秒
第3位	和泊町A	1時間01分11秒	第3位	伊仙町	1時間45分35秒
第4位	伊仙町	1時間01分42秒	第4位	和泊町A	1時間47分46秒
第5位	知名町A	1時間02分56秒	第5位	徳之島町	1時間50分46秒
第6位	喜界町	1時間03分29秒	第6位	瀬戸内町	1時間52分09秒
第7位	龍郷町	1時間04分39秒	第7位	知名町A	1時間52分54秒
OP	瀬戸内町B	1時間03分56秒	第8位	龍郷町	1時間58分59秒
OP	知名町B	1時間09分55秒	第9位	大和村	2時間01分46秒
OP	和泊町B	1時間10分56秒	OP	喜界町B	1時間51分06秒
			OP	和泊町B	1時間54分25秒
			OP	知名町B	1時間57分35秒
			OP	和泊町C	1時間58分16秒

※OPは、オープン参加の略称。

まちの出来事がわかる まちなびコーナー

11/6 AGF(株) コーヒー 施設復旧作業

AGF(株)が出資して作ったビニールハウスで、社員5名が伊仙町へやってきました。目的は、コーヒー施設の復旧作業。

昨年、AGFが出資して造られたコーヒー苗を育てるビニールハウス施設が台風24号により、大きな被害を受けました。その復旧作業に駆け付けたというところで、この日は気温も上がり、日差しが照り付けるなか、作業を行いました。

コーヒーにとつては、台風は天敵とも言える存在ですが、AGFと生産者組合が力を合わせて、徳之島コーヒーの生産拡大に向けた取り組みが続きます。



11/12 いりばたサロン

西伊仙西集落で、いりばたサロンがスタートしました。この日、参加者は、グラウンドゴルフで体を動かししました。写真の看板は、伊仙町「がんばる集落」支援事業で製作した看板です。サロン活動は主に、高齢者の見守り活動や地域貢献として美化活動を行い、住み慣れた地域でお互いが支え合いながら、暮らし続けられるよう活動を行っていきます。



11/18 阿権校区の文化祭

阿権小学校で校区合同文化祭が行われました。今年で7回目を迎える校区合同文化祭。小学校と校区と一緒に運営委員会を立ち上げ、当日に向けて準備を進めます。舞台発表も展示発表も、学校と校区の方々両方が行います。小学生の舞台発表は、島口劇が中心で、島口は校区の方々を教えてくださいます。校区の展示発表は、文化祭に向けて取り組んだ力作が並びます。家庭教育学級や子ども会で取り組んだ作品も飾られて、バラエティーに富んだ舞台発表とともに、作品コーナーも大変充実しています。当日は、校区内外から120人ほどの人が来て、文化祭を盛り上げてくださいました。学校と校区が一丸となった、正に「小さな小学校の大きな文化祭」が催されました。



11/20 幼稚園児ボランティア清掃

犬田布幼稚園の園児と保護者が幼稚園を出発して、糸木名までの沿道沿いのボランティア清掃を行いました。また、22日には、面縄幼稚園の園児も保護者と一緒に、面縄海岸の清掃を行いました。清掃の他にも、焼き芋大会を行いました。



まちの出来事がわかる まちなびコーナー

11/23

伝統行事タネブシ

秋の年中行事として、行われている「タネブシ」が上面縄集落でありました。夕暮れ時から、子どもたちや青年団が集まり始め、集落内の家々全てを廻っていました。各家庭からは、もてなしの料理や飲み物などが振舞われます。なかには、毎年お馴染みの手料理を出す家庭もあります。

また、青年団の活動費として寄付などもあり、来年の十五夜などの集落行事に役立てられています。この日を楽しみにしている高齢者も多く、今か今かと待ちわびている様子でした。



12/10

看取り介護・看護研修会

社会福祉協議会主催の看取り介護・看護研修会が西伊仙児童館で開催されました。この日は、約70名の医療関係者や介護施設関係者が参加し、日本看取り士会会員の木原寿美子さんを講師に迎え、「看取り」をテーマに講話がありました。木原さんは、徳之島で看護師として、医療現場で勤務した実体験を基に、看取りの在り方や現場スタッフの心構えについて、話をしました。東京では、深夜の見守りなどで、看取り士への派遣依頼が増えているそうです。看取りと聞くと、暗いイメージを持ちがちですが、実際は、心の触れ合いを通じた温かさや絆を感じることができる意義深いものであることを語っていました。



院長

12/15

公民館講座閉講式

公民館講座の閉講式が伊仙町中央公民館で行われました。約半年間、講座が実施され、受講生それぞれが、有意義な時間を過ごせたようです。

受講生を代表して、将棋講座を受講した面縄小学校5年生の田之頭政宗君は、「最後の試合が心に残っています。一進一退の攻防の末、負けてしまい、悔しい思いをし、涙が出ました。でも、次こそは勝ちます」と力強く感想を述べ、半年間で成長した姿を見せていました。

子どもから高齢者まで、異世代交流ができることも魅力となっています。特技や趣味を生かし、学びを深めることができる公民館講座。来年も多くのの方々の受講をお待ちしています。



12/18

馬鈴薯の研修会

阿権集落にある畑かんマイスター水利用展示ほ場で、馬鈴薯農家を対象に研修会がありました。今年は、植え付け時期の雨量が少なく、種芋からの出芽が遅れているということで、生育初期のかん水で、生育促進につなげてほしいと話がありました。かん水は、適量の散水を心掛けることが大切で、雨量が多い時期にかん水を増やすと、疫病などの蔓延につながることもあるので、天候と畑の状態を見ながら行ってくださいと、助言がありました。

また、収穫前の1週間程前に、茎葉処理することで、皮むけ防止、収穫時の労力軽減につながるなどの効果があるそうです。農家からは、質問が多くあり、単収向上への意欲が感じられました。



伊仙町地域おこし協力隊

新年あけましておめでとうございます。伊仙町地域おこし協力隊の宮出です。町民の皆さまいかがお過ごしでしょうか。今回は嬉しいご報告をさせていただきます。11月8日～11月11日に韓国で開催された『World Coffee Battle 2018』シグネチャー（コーヒーカクテル）部門にて、伊仙町で栽培されたコーヒー副産物を使ったドリンクが世界に輝きました。ワールドコーヒーバトルとは、世界各国のバリスタの代表たちがオリジナルのドリンクを作成し、そのおいしさを競う大会です。



2014年バリスタ日本チャンピオンの野里史昭さんから連絡があり、「宮出君のつくった伊仙町産のコーヒー副産物をつかって優勝したよ」と一言。

野里史昭選手が世界大会の決勝の舞台で最後の切り札として提供したのが、伊仙町で作ったコーヒー副産物であるコーヒーの花と果肉を使ったスペシャルドリンク「Making Story」とのことでした。

野里さんとは、以前から交流があり、大会前にコーヒー副産物を提供してはいたのですが、まさか決勝で使っていただけるとは(笑) 信じられないくらいびっくりしました。

このような偉大な賞に関われたことに対し、大変うれしく思います。また、世界中のコーヒー関係者にコーヒーの多様性と伊仙町の可能性をアピールする大きな機会ともなりました。

僕自身、今回の大会で自分の仕事に自信を深めることが出来ました。より一層努力し、コーヒー副産物の質を高め、伊仙町に貢献できるよう頑張っていきます。



11月23日（金）ほーらい館の広場で行われた伊仙町産業祭にブース出しました！4月1日に赴任してから、やっと伊仙町の皆様にコーヒー副産物である、コーヒーの葉っぱで作ったお茶を提供できる機会となりました。

簡易なブース出店になってしまったのですが、当日は、茶葉を焙じる焙煎体験コーナーなども設け、地元の子供が、1人焙煎機を回し始めるとあっという間に人だかりができ、非常に楽しい時間を町民のみなさんと過ごすことが出来ました。

副産物で作るお茶も大変好評をいただき、中には3杯ほどおかわりをされたお客様もいらっしゃいました。食品新聞の記者の方の取材も受けつつ、混雑時はバタバタしましたが、みなさんのおかげで、当日用意したお茶は完売する事ができました！ありがとうございます。

告知になるのですが、平成31年2月2日（土）に伊仙町の農高跡地でおこなっている『寺子屋』に講師として登壇いたします。当日はコーヒー焙煎体験や、コーヒーの茶葉の焙煎体験、おいしいカフェオレ作りなどを行います！みなさん、是非お子様連れでご参加ください！それではみなさん、寒い季節となりますので風邪などひかぬようご自愛ください。



伊仙町地域おこし協力隊

みなさん、明けましておめでとうございます！地域おこし協力隊の加川です。昨年12月で地域おこし協力隊になって、丸1年が経ちました。

この1年でたくさんの方と出会い、たくさんの方の事を学ばさせていただきました。本当にありがとうございました。

今年の1年は、昨年に引き続き、昔の写真の掘り起こし活動とこれまでに私が撮影してきた徳之島の風景や文化などの写真を、島内島外の方に見ていただく活動を考えています。今はインターネットなどで、徳之島の情報をどこでも得ることができますが、また違ったかたちで伝えられたらと思います。



また昨年末の活動のご報告。11月に東京・池袋で開催された「アイランダー2018」に参加してきました。毎年約2万人が来場するというので、とても緊張しましたが、奄美群島のブースで徳之島のこと、伊仙町のことをたくさんの方とお話しすることが出来ました。

今年も徳之島・伊仙町の文化や歴史を写真を通して勉強しつつ、発信できたらと思いますので、何卒よろしくお願いします！



未来創生課からのお知らせ

工事のお知らせ

センター機器の老朽化に伴い、機器の更新工事を4回に分けて行います。

作業期間中、以下のサービスが一時的に利用できなくなります。

対象となるサービス
インターネット
IP告知端末からの各種放送
IP無料電話

※NTTの電話への影響はございません。

作業日程

- | | | |
|-----|--|------------|
| 1回目 | 2019年1月17日(木) | 0:00~3:00 |
| | ※この時間帯は対象サービスの利用ができません。 | |
| 2回目 | 2019年1月21日(月)~22日(火) | 9:00~18:00 |
| | ※上記の時間帯の内、60分程度、断続的にサービスの利用ができません。 | |
| 3回目 | 2019年1月29日(火) | 0:00~6:00 |
| | ※この時間帯は対象サービスの利用ができません。 | |
| 4回目 | 2019年2月8日(金)、12日(火)、13日(水) | 9:00~18:00 |
| | ※上記の時間帯の内、5分から10分程度、断続的にサービスの利用ができません。 | |

【お問い合わせ】 徳之島ビジョン 0800-600-7109
伊仙町役場未来創生課 0997-86-3111 (内線27)

鹿児島大学司法政策教育研究センター 無料法律相談の実施について

学生等の実習を兼ねて実施され、弁護士のほか教員・学生が同席することがあります。
回答は担当弁護士が責任を持って行い、守秘義務も守られます。

【日時】 2月9日(土)
9時30分~15時30分

【場所】 中央公民館1階研修室
1日5件の予約制です。(要予約)

【問い合わせ・予約先】
鹿児島大学司法政策教育研究センター 担当：石間伏、竹下
電話 099-285-7569
099-285-3905

町民生活課からのお知らせ

平成31年度保育所入所申込みについて

平成31年4月1日以降の認可保育所・へき地保育所・認定子ども園の入所申込書を下記のとおり受付いたします。申込書は、役場町民生活課にあります。なお、現在入所中の方については、保育所を通じて「入所申込書」を配布します。

<<受付期間>>平成31年1月4日(金)～平成31年1月31日(木)

伊仙町内の認可保育所		
幸徳保育園	定員60名	0歳から保育時間は午前7時30分～午後6時まで
わかば保育園	定員60名	0歳から保育時間は午前7時30分～午後6時まで
いせん保育園	定員60名	0歳から保育時間は午前7時30分～午後6時まで
伊仙町内の認定子ども園		
木らら	定員22名	0歳から保育時間は午前7時30分～午後6時30分まで
伊仙町内のへき地保育所		
1歳7か月から	保育時間は、午前7時45分～午後5時15分まで	保護者負担金は園児1名 4,000円/月

※保育所(園)へ入所できる児童は、両親いずれも家庭内外問わず働いている場合、または次の事項にある場合です。(親のいない家庭・母親の出産・病人の看護等・家庭の災害・就学)

◎認可保育所は、所得状況により保育所利用料を算定します。

◎**保育所入所の希望が多い場合は、判定会で決定します。希望の保育所に入所できない場合がありますので、予めご了承ください。**

(お問い合わせ) 伊仙町役場町民生活課 児童福祉係 TEL:0997-86-3111 (内線55)

新成人のみなさんへ<20歳になったら国民年金>

国民年金は、「年をとった時やいざという時の生活を現役世代みんなで支えよう」という考えで作られた仕組みです。具体的には、若いときに公的年金に加入し保険料を納め続けることで、年をとったときや、病気やケガなどで障害が残ったとき、家族の働き手が亡くなったときに、年金を受け取ることができる制度です。



国民年金のポイント

◎**将来の大きな支えになります。**

国民年金は20歳から60歳までの人が加入し、保険料を納める制度です。国が責任を持って運営するため、安定していますし、年金の支給は生涯にわたって保障されます。

◎**老後の為だけのものではありません。**

国民年金には、年をとった時の老齢年金の他、障害年金や遺族年金もあります。障害年金には、病気や事故で障害が残った時に受け取れます。また、遺族年金には加入者が死亡した場合、その加入者によって生計を維持されていた遺族「子のある配偶者」や「子」が受け取れます。

国民年金保険料は口座振替がお得です。

国民年金保険料の納付には、口座振替がご利用できます。口座振替は、現金納付よりも割引率が大い6か月前納・1年前納・2年前納や、月々50円割引となる早割制度が用意されています。

口座振替をご希望の方は、納付書又は年金手帳、通帳、金融機関届出印を持参のうえ、ご希望の金融機関または役場年金係までお申し出ください。

「学生納付特例制度」

学生の方は一般的に所得が少ないため、ご本人の所得が一定以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。対象となる学生は、学校教育法に規定する大学(大学院)、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校(修業年限1年以上である過程)、一部の海外大学の日本分校に在学する方です。

(お問い合わせ)

伊仙町役場町民生活課 国民年金係 TEL:0997-86-3111 (内線52)

日本年金機構 奄美大島年金事務所 TEL:0997-52-4341

建設課からのお知らせ

『平成31・32年度入札参加資格申請』を下記のとおり受け付けます。

※町内業者においては、『平成31年度入札参加資格申請』となります。

● 建設工事について

1	建設工事入札参加資格審査申請書（県の様式記入要項を参照の事）・申請用紙のみホームページ掲載分を使用の事
2	建設業許可通知書の写し
3	建設業許可申請書の写し
4	経営規模等評価・結果通知書の写し
5	直前2年（H29年・28年）の各事業年度における工事経歴書
6	町税等納税証明書及び各使用料納入証明書（町内業者のみ）
7	消費税及び地方消費税納税証明書の写し（直近のもの）
8	労働保険料（労災保険）納入証明書の写し（直近のもの）
9	退職金共済組合加入契約証明書の写し（直近の支払証のコピーも）
10	雇用保険料納入証明書の写し（直近のもの）
11	使用印鑑届
12	専任技術者証明書の写し（直近のもの）
13	従業員等の技術資格者一覧表（資格免状・講習終了証等のコピーを添付）
14	従業員等の保険証の写し（全員分）
15	建設業に関連した表彰の写し（H27.4/1～H30.3/31までの分）
16	建設業許可申請書に明記の本社及び委任先の所在地の郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、メールアドレス
17	その他（ボランティア証明書の写し等）※ボランティア状況写真を添付すること
18	委任状（支店・営業所等に委任する場合）

● 物品について

1	入札参加資格審査申請書
2	営業概要書
3	納税証明書（消費税等）
4	町税等納税証明書及び各使用料納入証明書（町内業者のみ）
5	使用印鑑届

● 測量、建設コンサルタント、地質調査等については、国土交通省の統一様式で提出してください。

◎ 提出部数：各1部

◎ 受付期間：平成31年1月4日～平成31年2月28日迄

※ 注意事項

- 書類不備の場合は受け付けできません。早めに申請し、確認を受けてください。なお町内の新規業者を除き、上記受付期間を過ぎると受け付けできません。
- 提出書類は、提出書類の一覧表を最上段にし、上記の各様式番号順にインデックスを付けA4判のファイルに綴じ、表紙及び背表紙に「入札参加資格審査申請書」及び「会社名」を記入してください。また、複数の業種を申請する場合は、業種ごとに提出してください。
- 申請年度内に許可（建設業許可）の期限が切れる場合は、すみやかに新許可書を入手し提出してください。
- 町外業者については、2年毎、町内業者については毎年の更新をお願いします。

【問い合わせ先】 伊仙町役場 建設課 TEL:86-3111

建設課からのお知らせ

『目手久団地』の入居希望者を下記のとおり募集いたします。

記

- 1 募集団地名 : 目手久団地 住所: 伊仙町目手久1874番2他
- 2 事業名 : 平成30年度 社会資本整備総合交付金事業(公営住宅)
- 3 住宅概要 : 木造平屋建、1棟6戸
3LDK 6戸(1戸当たりの床面積: 約76㎡)
※駐車場あり。
- 4 募集戸数 : 6戸
- 5 家賃 : 28,000円~88,500円/月(所得に応じて変動します)
別途: ※共益費: 約3,500円/月(入居者間で協議)
※敷金: 家賃の3ヵ月分
- 6 募集期間 : 平成31年1月10日~平成31年2月20日迄
- 7 申込方法 : 伊仙町役場建設課住宅係に「入居申込」の申請をして下さい。
(「入居申込」の申請書は、住宅係または、伊仙町ホームページで入手して下さい。
また、既存の住宅の申し込みをされている方も新たに申請の手続きが必要です)
- 8 入居資格 : 一般世帯(単身者は除く)で町税金等の滞納がない方。
※町営住宅からの転居は原則禁止ですが、選考委員会の認める入居者はその限りではない。
- 9 選考方法 : 審査会にて収入基準等の入居資格審査のうえ、抽選により決定します。
※所得により入居できない場合があります。
※入居者選考委員会で優先入居者が生じた場合等、抽選戸数が変更になる場合があります。
※抽選対象者には、事前連絡致します。
- 10 抽選時期 : 平成31年3月中旬(予定)
- 11 入居時期 : 平成31年3月30日(予定)

【問い合わせ先】: 伊仙町役場 建設課住宅係
TEL: 86-3111 (内線44)

※詳細な募集要項については、1月中旬頃より、ホームページ掲載及び建設課にてお知らせいたしますのでお問い合わせください。

きゅらまち観光課からのお知らせ

浄化槽を設置されている方へ 浄化槽定期検査受検のお願い

浄化槽は私たちの生活から排出された汚水を浄化し、きれいな水にして流すことができる装置です。そのため、業者に委託して行う「保守点検」と「清掃」をきちんと行い、水質に関する「法定検査」を受けることが義務付けられています。

・定期検査（浄化槽法第11条）

浄化槽の保守点検及び清掃が適正に行われているか、また適正に使用され浄化槽の機能が正常に維持されているかを検査し、併せて浄化槽から放流される水が基準以下のきれいな水になっているか、処理水を持ち帰り詳しい水質検査（BOD）を実施します。不適事項があれば、行政及び関係者が状況を把握するとともに早期にそれを是正することを目的としています。

※BOD(生物化学的酸素要求量)とは水の汚れの程度を表す指標です。合併処理浄化槽は20mg/L以下という基準が定められています。

・検査料金（一般家庭5人槽～10人槽）

	内容	人間でいえば…	自動車では…
保守点検	機能を保つためのメンテナンス作業 (消毒薬の補充、モーターの点検等)	日常の健康管理	ガソリン補充やオイル交換
法定検査	維持管理状況及び放流される処理水の水質検査 (BOD)	定期健康診断	車検

検査料金	単独処理浄化槽	合併処理浄化槽
定期検査	4,000円	6,000円

検査対象となった浄化槽(設置年度ごとに対象としています)については事前に指定検査機関から日程通知がありますので必ず受検していただきますようお願いします。

問い合わせ先

鹿児島県知事指定検査機関

(公財) 鹿児島県環境保全協会 TEL 099-296-9000
<http://www.kagoshima-kankyou.or.jp/>

鹿児島県生活排水対策室 TEL 099-286-3685

徳之島保健所 TEL 0997-82-0149

伊仙町きゅらまち観光課 TEL 0997-86-3111



○一般家庭ごみを廃棄する際に、指定ごみ袋に必ず名前を記載しましょう。
(※名前を書く意味として、自身のごみに責任をもってもらう事と同時にごみ処理を依頼するという観点から必ず書きましょう)

○ごみの分別をきちんとしましょう。
(※イベント終了後の清掃や、ボランティア清掃時でもお願いします)

○ごみ収集日以外や他地域の集積所へ持って行かないようにしましょう。
(※場所によっては、集積所が小さく、溢れ出てしまい、カラスや猫に荒らされ、集積所周辺の方々に迷惑がかかります)

名前を書いて、ごみを出してください

伊仙町農業支援センター青緑の里からお知らせ

農業を始めてみませんか？

- 1. 募集条件 本町に住所を有し、18歳から45歳以下の方で2名程度。
- 2. 研修期間 平成31年7月31日までの午前8時30分から午後5時15分
- 3. 研修手当 日額4,500円 研修終了後、本町において農業に従事できる方。
- 4. 研修内容 農業基礎講座を受講し、基礎知識・栽培技術・就農計画・農業経営の習得を目指します。
研修作物：ブロッコリー・レタス・実エンドウ・トウモロコシ
- 5. 研修後のサポート
○農業次世代人材投資事業
次世代を担う農業者を志向する者に対して、最長5年間最大150万円を交付。
○経営管理ソフト購入事業
営農状況、計画を的確に把握するための経営支援ソフト購入補助。

随時見学可能です。申請書類等については、青緑の里に用意してあります。

お問い合わせ 伊仙町農業支援センター青緑の里 (旧徳之島農業高校)
TEL/FAX 86-2711

徳之島保健所からののお知らせ

近頃、多くの放し飼いや引き取り犬などが保健所で保護されています。
これ以上、不幸な犬を増やさないために、ルールを守って飼ってください。

ルール1 犬の飼い主には、犬の登録と年1回の狂犬病
予防注射が義務づけられています。生後91日
以上の犬は全て、登録と注射が必要です。



ルール2 放し飼いは、わずかな時間であっても
禁止されています。トイレや散歩などで
放すことも許されません。



ルール3 犬は1回の出産で10
頭以上の子犬を産むこ
とがあります。みだりに
犬をふやさないために、
不妊去勢手術をしてください。



ルール4 糞や鳴き声などにより、困ってい
る人もいます。周囲の住民に迷惑を
かけないように飼ってください。



ルール5 犬に鑑札や注射済票または名前札などを付けて
ください。迷子になった時、飼い主さんを探すこ
とができます。



ルール6 ペットを捨てたり、傷つけることは
犯罪です。ペットを飼ったら最後まで
大切に飼ってください。



徳之島保健所 TEL 82-0149

徳之島くらし・しごとサポートセンターからのお知らせ



徳之島くらし・しごとサポートセンター



伊仙方面



お気軽にご相談ください。

相談受付 月～金 8時半～12時
 訪問相談 月～金 13時～17時半
 天城町役場(水) 13時半～16時半
 伊仙町役場(金) 13時半～16時半

ひとりで悩んでいませんか？

- 仕事をやめて収入がなくなっちゃった...
- どんな仕事に向いているかわからない...
- お金のやりくりがうまくいかない...
- 借金をどうしたらいいだろう...
- 勉強についていけない...
- 子どもの教育費が心配...
- 家族の生活、将来が心配...
- 周りに相談できる人がいない...
- 生きていくのも辛い...

生活の悩み不安

しごと...

子ども...

病気・介護...



ひとりで抱えこまずに
まずはご相談ください。

徳之島くらし・しごとサポートセンターとは？

生活全般にわたり困りごとの「なんでも」相談窓口です。誰もが当たり前、その人らしく地域で暮らすことができるよう、問題を抱えている人を独りぼっちにせず、専門の相談員が問題の解決に向けて一緒に考え、それぞれの状況に応じた生活状況改善プラン、就労支援プランなどを作成し継続的に支援します。「どこに相談していいかわからない」「誰に聞いたらいいかわからない」そんな困りごとは、徳之島くらし・しごとサポートセンターへご相談ください。



徳之島くらし・しごとサポートセンター
 大島支庁・徳之島事務所福祉課 ヨコ
 〒891-7101 鹿児島県大島郡徳之島町亀津7216

TEL 0997-82-1122
 土日専用080-8388-1635 (8時半～17時15分)
 FAX 0997-82-1123

NPO 法人親子ネットワークがじゅまるの家からのお知らせ

子育て中のあなたへ・・・

ホームスタート・とくのしま

妊婦さんと6歳未満のお子さんが一人でもいるご家庭へボランティアのビジターさんが週に1回2時間程度訪問し、一緒に家事をしたり、お話をしたりしながら過ごす家庭訪問型子育て支援です。



お気軽にご利用ください

利用について

- *利用は無料です。
- *プライバシーに関する情報は、個人情報として慎重に扱い秘密は厳守されます。



妊婦の時に誰かがそばに
 いるだけで安心
 しました。

ゆっくりと話を聞いて
 もらえて、心が軽くなりま
 した。親子とも出かける
 よいきっかけになりました



ホームスタート・とくのしま

〒891-7101
 鹿児島県大島郡徳之島町亀津 4223-5
 NPO 法人親子ネットワークがじゅまるの家
 0997-82-0660 (月～金 9:00～17:00) ※祝日休
hs-tokunoshima@ga.jyumarunet.jp 担当: 福・野中





伊仙町商工会の窓



毎日毎日がお買い得!

お酒・ジュース・おつまみまで。豊富な品揃えで、お待ちしております。

牧本商店

新年会シーズンのお買い物は、ぜひ当店をご利用ください



住 所 伊仙町伊仙 2591-3
営業時間 午前8時から午後10時まで
電話番号 86-2020

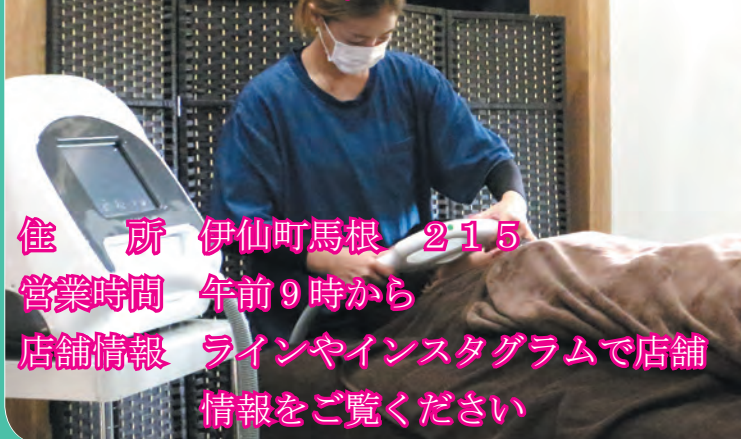
牧本商店

ほーらい館
前交差点



**新規オープン
美肌脱毛しませんか
プラセンタ導入**

LUANA



住 所 伊仙町馬根 215
営業時間 午前9時から
店舗情報 ラインやインスタグラムで店舗
情報をご覧ください

町営住宅
馬根団地

阿権へ

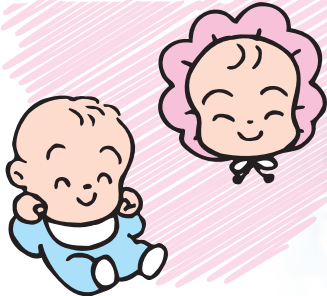
馬根小学校

LUANA

※伊仙町商工会の窓では、商工会加盟店の広告を掲載しております。掲載希望の商店は、伊仙町商工会(0997-86-2390)までお問合せ下さい。

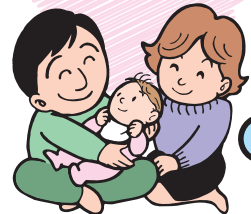


子宝日本一の町 わが町のアイドル



にしかわ **西川** なのは **奈花** ちゃん
(0歳6か月)

笑顔が素敵な奈花ちゃん♡
大きくなってね♡



わが町のアイドル募集!

本紙では「わが町のアイドル」と題して、わが家のかわいい子どもの写真を掲載します。

毎月10日までに住所・氏名(子どもと保護者)・電話番号・簡単なPR文を添えて、写真を未来創生課広報係までお持ち下さい。

お問い合わせ先 伊仙町役場 未来創生課
TEL 86-3111 (内線 27)

人口の動き

(30年11月末現在)
※総人口は、外国人含む。

総人口=6,732	出生=1
男 =3,419	死亡=12
女 =3,313	転入=16
世帯=3,498	転出=12

戸籍の窓

お誕生おめでとう(敬称略)

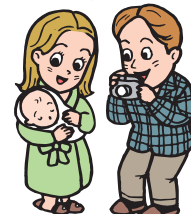
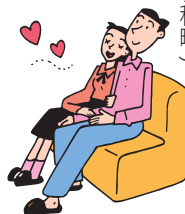
出生児

保護者

集落名

氏名	出身地	出生児	保護者	集落名
米田 力也	目手久	政岡 幸明	和樹	鹿兒島市
大河 里奈	阿三	藤井 結莉	政和	東大田布
松田 俊	忍	常 楽明	峻亮	馬根
古田 詩織	真悟	田上 花音	雄功	中伊仙西
琉 綾花	健人	迫田 葉奈	英樹	崎原
松田 俊	忍	古田 詩織	真悟	伊仙
馬根		松田 俊	忍	

ご結婚おめでとう(敬称略)



香典返し 金一封いただきました。 ※社会福祉協議会受付

- 上 晴 迫田利江さん (亡) 迫田明宏さん 満68歳
- 古 里 清水武さん (亡) 杉本登美子さん 満94歳
- 東 伊 仙 上木貴弘さん (亡) 上木成子さん 満94歳
- 西 伊 仙 東 吉見美香子さん (亡) 吉見文司さん 満69歳
- 目 手 久 美山一章さん (亡) 美山登代子さん 満89歳
- 上 検 福 泉 孝應さん (亡) 泉 よしさん 満91歳
- 犬 田 布 牧島幸造さん (亡) 牧島和子さん 満90歳
- 喜 念 南 正一さん (亡) 南 メチさん 満104歳
- 糸 木 名 糸 泰三さん (亡) 糸 トミ子さん 満92歳
- 東 犬 田 布 國澤健祐さん (亡) 國澤オキさん 満94歳